

神戸空港での太陽光発電設備の設置について ～相次ぐ太陽光発電設備の設置、地方空港へも領域を拡大～

この度、空港施設株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：田村 滋朗）は、神戸空港に保有する格納庫増築棟に太陽光発電設備を設置いたしましたので、お知らせいたします。

現在、当社ではCO₂排出量削減を目的として、羽田空港国内貨物地区をはじめ、国内外各地に太陽光発電設備の設置を推進しております。

今般、施設をご利用中のエアバス・ヘリコプターズ・ジャパン社にて省エネ・環境対策として当該施設の屋根への太陽光発電設備設置を検討する中で、当社の強みを活かした提案を行った結果、当社案を採用いただき導入に至ったものです。

太陽光発電設備で発電される電力は施設内で使用され、格納庫および増築棟を合わせた年間電力使用量の約10%相当の発電量が見込まれています。

当社はサステナビリティ基本方針について、CO₂排出量の削減および再生可能エネルギーの活用を重要課題として掲げております。今後も脱炭素社会や持続可能な社会の実現に貢献すべく、取り組みを加速させてまいります。

【発電設備詳細】

設置施設	神戸空港 格納庫増築棟
用途	自家消費電力
年間発電量 (初年度)	約 197,004kWh
運用開始日	2024年12月



以上

【本件に関するお問い合わせ先】

空港施設株式会社 広報・IR室

電話：03-3747-0953（9：00～17：00）

※土日祝日を除く